

審議会等の会議記録

会議の名称	第1回朝日町新庁舎建設基本計画策定委員会
開催日時	令和5年11月22日
開催場所	朝日町役場 2階大会議室
出席者氏名	<p>委員：小林 慶太郎 東 勝久 後藤 崇 福永 絵美 野本 藤昭 森 深雪 清 将人 水谷 保之 安達 輝雄 平野 智子 (敬称略)</p> <p>町長：矢野 純男 副町長：荒木 敏之</p> <p>事務局：稲垣 光政 永田 貴久 寺島 克 田中 悟 西脇 巧 今村 瑤子</p>
傍聴人数	0名
会議の議題	新庁舎建設基本計画策定の概要について
会議資料の内容	<p>委員会次第 資料1 朝日町新庁舎建設基本計画策定委員会委員名簿 資料2 朝日町新庁舎建設基本計画策定委員会設置要綱 資料3 庁舎建設までのプロセス及び委員会スケジュール(案) 資料4 朝日町新庁舎建設基本構想(概要版) 資料5 建設候補地における評価の考え方について</p>

<p>会議における議事の経過及び発言の要旨</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 町長あいさつ 4. 委員長及び副委員長の選出 委員長に小林慶太郎氏、副委員長に東勝久氏が選出される。 5. 朝日町新庁舎建設基本計画策定の諮問 6. 会議の公開について 7. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 庁舎建設までのプロセス及び委員会スケジュール(案)について 事務局：(概要説明) 清 委 員：過去に町内で公共施設建設時に用地取得価格が高騰した事例がある。本事業において用地取得価格高騰により基本計画策定時に想定する予算額を超えた場合候補地の再検討を実施するか。 矢野町長：用地取得費用高騰の懸念はあるが、基本構想の候補地検討内容を白紙とすることはしない。ただ、用地交渉が必要となった場合は、交渉期間中、議会へ情報共有しながら進めていくため、ご理解いただきたい。また災害対策のため高台移転を検討していることから、そのことを候補地として想定をせずに庁舎建設を検討することはできない。さらに候補地選定にあたっては国・県への補助金の利用が不可欠であるため補助の申請も見据えた具体的な検討を行いたいと考える。 (2) 新庁舎建設基本構想の振返り 事務局：(概要説明) 清 委 員：資料4の4ページ記載の議会機能が過大であるため適した内容に修正してほしい。具体的には、Wi-Fi設備は議会独自での整備を行うのは過大である。「将来の増席が対応可能なスペースを確保」とあるが、町が公表している将来人口推計を勘案すると議員の増員は考えにくい。また、その他導入機能について、議会図書室及び議員控室の利用率は低く、議員からは代わりに作業スペースを求める意見がある。基本計画の導入機能の記載に当たっては議員の意見聞取りを実施し反映してほしい。 小林委員長：昨年の基本構想では想定される機能を列挙しているた
---------------------------	--

	<p>め、本年の基本計画では朝日町で必要かどうかに応じて選択する予定である。</p> <p>事務局：議会導入機能の整理のため、議員に対し機能整理に関するアンケート調査を実施する予定である。</p> <p>水谷委員：同資料8ページ記載の事業手法についてメリット・デメリット等の詳細な説明をお願いしたい。</p> <p>事務局：公共施設整備の一般的な事例を提示している。事務局として方向性を定めてはいないため、今後議論を行う予定である。 「従来方式」は設計業務・施工業務を別で発注する方式である。 「デザインビルド方式」は基本設計業務を行った上で、実施設計業務と施工業務を一括で発注する方式である。設計企業と建設企業が別になるケース、設計と施工を一企業で行うケースがある。 「PFI方式」は設計業務・施工業務・維持管理運営業務を一括で発注する方式である。イギリス発祥の手法で財政再建の中で資金調達を新たな形態で進めてきたものであったが、日本国内においても昨今多く導入されるようになってきた手法である。庁舎建設の場合は運営業務を含まないため、建築物のメンテナンス等の維持管理業務までを一括で発注する。また資金について民間事業者において、想定される総事業費と利息にかかる資金を調達し、事業期間内に町から資金を事業者に戻す。三重県内においても、PFI手法の事例はいくつか見られる。</p> <p>水谷議員：PFI方式はリース方式と似ているか。</p> <p>事務局：概ねその通りである。</p> <p>小林委員長：PFI方式は土地及び建築物を最終的に朝日町が所有する点がリース方式とは異なる。基本計画で提示しているスケジュールは従来方式によるものであるが、他手法も検討が可能である。デザインビルド方式の三重県内事例は東員第一中学校(東員町)がある。</p> <p>事務局：実際にデザインビルド方式で発注された事例として多度学園(桑名市)があり、設計段階が完了間近である。</p> <p>8. 協議事項 (1) 建設候補地における評価の考え方について</p> <p>事務局：(概要説明)</p> <p>小林委員長：候補地選定においては個人的な見解があると考えられるが、本計画策定に当たっては客観的に評価する必要</p>
--	---

	<p>があり、評価指標を提示している。評価項目について追加の提案や提示項目への質問があれば伺いたい。</p> <p>福永委員：災害支援ナースをした自身の経験から、評価項目「①防災上の安全性」について災害時の避難所の運用を想定する項目の追加が必要と考える。公表されている南海トラフ地震の被害想定を鑑み、災害時の川越町民の受入れ、朝日中学校及び朝日町保健福祉センター等の避難所指定が決定していることから、災害時の庁舎と想定される避難所の運用が合致することが重要であると考えためである。</p> <p>小林委員長：災害時に庁舎と避難所との連携が可能であるかを評価項目に追加する。</p> <p>清委員：候補地4-2について朝日町教育文化施設敷地西に位置する池を埋立てることで私有地の用地取得が不要になるのではないかと考える。その際には教育文化施設を増改築して階数を増やせば用地取得の問題は解消できると考えるが、基本構想策定時にこのような意見はなかったか。</p> <p>事務局：基本構想策定時に教育文化施設を庁舎敷地として活用する案はなかったが、朝日町体育館西側調整池を庁舎の付帯駐車場敷地として活用する案はあったと認識している。</p> <p>荒木副町長：教育文化施設敷地の上に位置する池はより親水性のあるビオトープに改修し、教育文化施設として利用する予定で予算計上している。したがって、教育文化施設を庁舎敷地とする案はなかった。また池は面積が小さいため、候補地4-2とする場合でも私有地の買収は必須であると考え。</p> <p>清委員：この質問は、全員協議会においても議員から朝日町歴史博物館の増改築により利用できないかとの意見があり、新庁舎建設基本構想策定過程においても同様の検討がなされたかを確認させてもらいたかっただけです。</p> <p>小林委員長：候補地をみえ朝日IC付近とした意図は、災害時の三重県の広域防災拠点とのアクセス、及び支援物資の輸送が伊勢湾岸道及び国道1号線を経由して行われるフローに配慮したためか。</p> <p>荒木副町長：そのとおりで、防災上の安全性の項目に緊急時の輸送道路との連携等の評価項目があります。</p> <p>小林委員長：資料5の具体的な項目に福永委員の意見の発災時の連携</p>
--	--

	<p>のしやすさを項目に加えた上で評価を行う。</p> <p>9. その他</p> <p>(1) 第2回委員会の開催日程について(予定)</p> <p>【日時】令和6年1月</p> <p>【場所】朝日町役場 2階大会議室</p> <p>(2) 連絡事項</p> <p>事務局：導入機能の検討に当たり議会議員・職員への機能整理に関するアンケート調査を実施予定であることを委員の皆様方にご承知おきいただきたい。</p> <p>10. 閉会</p>
--	---